

会報

Rotary International District 2820
下館ロータリークラブ
 SHIMODATE ROTARY CLUB WEEKLY REPORT



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 RI 会長 カルヤン・パネルジー

- 例会日 毎週水曜日 PM12:30 ダイヤモンドホール
- 事務所 ダイヤモンドホール (筑西市玉戸 1053-4 0296-28-8511)
- ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp/>
- 会長 加藤 昌美 ■ 副会長 大林 稔 ■ 幹事 渡辺 進
- 会報委員会 委員長 司代 隆之 副委員長 中丸 健 委員 斉藤 寛之

今週のプログラム

4月4日(水) PM12:30～13:30

- 祝い事・フリー

次週のプログラム

4月11日(水) PM12:30～13:30

- 筑西市地域活性化プロジェクト「ちっくタッグ」
白井佐和子リーダー・大畑芳道サブリーダー

お客様

羽黒神社 宮司
 浜田 人司 氏



会長挨拶

加藤 昌美 会長

皆さんこんにちは。本日のお客様をご紹介致します。羽黒神社宮司の浜田人司様でございます。後ほど卓話をお願いしておりますが、本日は何かとお忙しい中ようこそおいで下さいました。「おはぐろさん」の呼び名で地域から大変親しまれている羽黒神社。山形県・出羽三山の権現を勧請したものと伺っておりますが、その歴史は古く 1481 年下館城主・水谷家の守り本尊として奉られたようです。本殿そして絵馬等が県指定文化財ですが、本日は宮司様より詳しいお話が伺えるものと大変期待しております。また日曜日の茨城新聞に、大変厳粛な佇まいの羽黒神社の写真と共に、短編映画「またいつか夏に。」の神輿渡御の記事が載っておりました。1 月末からの 1 週間の撮影には、市民と行政からなる市活性化組織「ちっくタッグ」が全面的に協力。夜間駅前で行われたクライマックスとなる神輿渡御のシーンには、市民 350 人が担ぎ手等を演じたそうです。沖縄で開催中の沖縄国際映画祭にも出品され、大変評判が良いようです。6 月には明野のイル・プリランテでも上映が計画されているそうですので、ぜひ見てみたいですね。

さて 3 月は識字率向上月間となっております。識字率の向上は 1986 年以来国際ロータリーの強調事項であり、地域社会で読み書きを向上させるプロジェクトを支援しています。識字率とは、15 歳以上人口に於ける日常生活の簡単な内容について読み書きができる人の割合を言い、現在約 10 億人、つまり 70 億人とされている世界人口の 7 分の 1 の人々が文字を読む事が出来ないと推測されています。私共下館ロータリークラブは、ネパールに小学校を建設したり学用品を贈呈したりしておりますが、これらも学業の機会を与えると同時に、識字率の向上にも貢献していると思われま。インターネットで見ますとネパールの識字率は 48.6% で、男性が 63%、女性が 35% となっております。ただしこれは数年前の統計の様ですので、現在は大分向上している事でしょう。これからも継続した支援が必要ですね。以上です。

幹事報告

渡辺 進 幹事

幹事報告

- 市民病院長より震災時の寄付を、AED 購入の一部に使った事に付き感謝の手紙受理
- ロータリーインターナショナルより、代議委員会投票権 (国際大会) 受理
- 水戸 RC, 水戸西 RC より、週報受理

スマイルBOX

小島 ゆり 委員長

加藤 昌美さん 浜田宮司さん、ようこそお出で下さいました。
本日は卓話楽しみです。

渡辺 進さん 浜田様卓話宜しく願います。日曜日に銚田 RC40周年に行ってきました。

星野 英夫さん 浜田宮司さんようこそいらっしやいました。本日は宜しく願います。

日向野 陽さん 浜田宮司さんの卓話楽しみです。当社の新入社員・入社式を 3/31 ダイヤモンドホールで行います。一度に学卒者 3 名を採用するのは初めてですが頑張ります。

大林 稔さん 浜田羽黒神社宮司をお迎えして。

小林 一彦さん 羽黒神社宮司・浜田人司様、卓話有難うございます。

関谷 徹さん 浜田宮司さん宜しく願います。今月もニューモラルを配布させて戴きます。

新井 利平さん 羽黒神社・浜田宮司の卓話御苦労様です。

百目鬼博行さん 浜田宮司様の卓話を記念して。

細谷 貢さん 浜田宮司さんの卓話楽しみにしていました。

鈴木 光則さん 浜田宮司のお話を例会で聞けるとは思って居ませんでした。今日まで楽しみにしていました。

司代 隆之さん 浜田人司宮司様ようこそお出で下さいました。卓話楽しみにしております。宜しく願ひ致します。

小嶋勝五郎さん 浜田先生、本日は卓話有難うございます。

溝口 明洋さん 浜田宮司様いつもお世話になり有難うございます。本日の卓話楽しみです、宜しく願ひ致します。

佐藤 昭さん 浜田さんの卓話楽しみにしていました。

篠原 智さん 浜田宮司様、卓話有難うございます。

奥沢 裕二さん 今月も本業を支えてくれた従業員たち、そして家族に対して感謝し、ロータリアンとして奉仕部門に協力の意を表したい。

新井 雅勝さん 今月も本業を支えてくれた従業員たち、そして家族に対して感謝し、ロータリアンとして奉仕部門に協力の意を表したい。

根岸 隆男さん 今月も本業を支えてくれた従業員たち、そして家族に対して感謝し、ロータリアンとして奉仕部門に協力の意を表したい。

中里 泰久さん 今月も本業を支えてくれた従業員たち、そして家族に対して感謝し、ロータリアンとして奉仕

部門に協力の意を表したい。

永盛 武さん 今月も本業を支えてくれた従業員たち、そして家族に対して感謝し、ロータリアンとして奉仕部門に協力の意を表したい。

河添 康徳さん 今月も本業を支えてくれた従業員たち、そして家族に対して感謝し、ロータリアンとして奉仕部門に協力の意を表したい。

本日の合計 28,000円 / 累計 1,335,000円

出席報告

佐藤 昭 委員長

例会日	会員数	出席	欠席	病欠	免除
3/28	45	32	10	0	2

■ メークアップ

月日	メークアップ場所	氏名
2月26日	しもだて紫水 RC 稚魚放流	諏訪 哲也さん
3月22日	下館ローター アクトクラブ	奥沢 裕二さん 中丸 健さん 司代 隆之さん 溝口 明洋さん 押田 浩さん 河添 康徳さん
3月23日	ガバナー事務所	新井 和雄さん
3月25日	銚田 RC40 周年	加藤 昌美さん 渡辺 進さん

羽黒神社 宮司 浜田 人司様

羽黒神社

明治維新まで「羽黒大権現」と称す

● 権現とは

おもに神仏が習合されていた時代、本地垂迹説（日本における神々は、本地である仏が仮の姿としてあらわれたもの）における神号。



権〇〇(〇〇)は役職名など。例「権大納言」のように、「権」は臨時の。仮のとの意。

● 沿革

文明十三年（一四八二）水谷左近将監勝氏が下館城築城後、領内安堵のため日頃尊崇する山形出羽国羽黒山より太権現を勧請し、五社に分配しました。

大町に本社、鬼門（北東）にあたる大字稲野辺本郷、風門（南東）にあたる大字下岡崎、病門・裏鬼門（南西）にあたる大字外塚、天門（北西）にあたる岡芹に創立。

※ 水谷家

二代勝国・三代勝之・四代勝吉
五代治持・六代政村・七代勝俊

八代勝隆（寛永十六年六月五日、備中成羽に移封。三年後石高五万石にて、現高梁市松山城主に。四十五歳）

六代水谷政村公（号・出羽入道幡竜齋）が、天文十

四年（一五四五）、現筑西市樋口に久下田城を築城。その鬼門にあたる現栃木県真岡市二宮町大根田、病門にあたる現筑西市口戸に羽黒神社を建立。これが七羽黒である。

下館羽黒神社は七羽黒筆頭として特に崇敬篤く、城主が境内六千余坪・三十七石を寄進し、武運長久・領内安堵・子孫繁栄を祈願した。

その後享保十五年（一七三三）墨田豊前守直邦のとき、社殿修復、享保十七（一七三四）下館城に入った、石川家代々に篤く尊崇されました。ここに石川家は代九代まで城主として治めておりました。

※ 石川家

初代総茂（ふさしげ）・二代総陽（ふさはる）
三代総候（ふさととき）・四代総弾（ふさただ）
五代総般（ふさつら）・六代総親（ふさちか）
七代総承（ふさつぐ）・八代総貨（ふさたか）
九代総管（ふさうち）子重之（しげゆき）

このようにして羽黒神社は、水谷様、墨田様、石川様に厚く崇敬されておりました。

御祭神

● 羽黒神社

大己貴大神（おほなむちのおほかみ）
国津神 神使はねずみ

別称と神徳（沢山のお名前を持っておりました）

① 大国主神（おおくにぬしのかみ） 大国を治める帝王の意

② 大穴牟遲神（おおなむぢ）

大穴待命（おおなもち）

大己貴命（おほなむち）

大国主の若い頃の名前

太汝命（おほなむち）『播磨国風土記』での呼称

大名持神（おおなもち）

③ 八千矛神（やちほこ）矛は武力の象徴で、武神としての性格を表す

④ 葦原醜男

葦原色許男神（あしはらしこを）「しこを」は強い男の意で、武神としての性格を表す。

⑤ 大物主神（おおもわぬし）

⑥ 大國魂大神（おほくにたま）

⑦ 顕国宝神・宇都志国玉神（うつしくにたま）

⑧ 国作大己貴命（くにつくりおほなむち）

伊和大神（いわおほかみ）伊和神社主神『播磨国風土記』での呼称

⑨ 所造天下大神（あめのしたつくりしおほかみ）『出雲国風土記』における尊称

⑩ 幽冥主宰大神（かくりごとしろしめすおほかみ）

このように沢山のお名前を持っていることは、大己貴大神様の御神徳を表したものと思われれます。

父 天冬衣神（あめのふきねのかみ）

亦名 天之冬衣神・天之葺根命

母 刺国若比賣神（さしくにわかひめ）の大神

古事記においては須佐之男命の六世の孫

日本書紀においては七世の孫と記されています。

御神徳大黒様の御神徳は、国土の修理保護 農業技術指導・温泉開発・まじなひの法制定・縁結び・夫婦和合・子授けの大神・五穀豊穰・医薬業守護・病氣平癒・商売繁昌の大神です。この中に夫婦和合・子授けの大神とありますが御子神は百八十一柱。

少彦名命(すくなひこな)と協力して国作りに勤められる。日本の国土を創り上げる。

日本書紀第九段一書(あるふみ)二二

「天神(あまつかみ)勅(みこと)の申し出(如此(かく)は慇懃(ねんごろ)なり(行き届いている)。敢(あえて命(みこと)のりに)に従(したが)わざらんや。我が治(さ)せる顯露(あらわ)の事は、皇孫(みまろ)まさに治(さ)すべし。我(われ)はまさに退(しりぞ)きて幽事(かくれこと)治(さ)さん」

顯露(あらわ)の事 目に見える世界「ひのくに」

幽事(かくれこと) 目に見えない世界「あのよ」

日の昇る伊勢 天照大神

都の視点 対比軸で国家側が二社を成立させた日の沈む出雲

日本人の東西観・死生観(自分は黄泉の国「あの世」の国を支配すると言っています)。

羽黒神社には相殿神

玉依姫命 綿津見大神(海神)の子で、豊玉姫の妹。

神武天皇の御母。

神霊が依り悪く乙女・神に仕える巫女

のような存在。

姉豊玉姫は古事記、海幸彦・山幸彦挿話においての山幸彦(火遠理命:ほりのみこと)と結ばれ、天津日高日子波限建鵜草草葺不合(あまつひこひこなきささたけ)やかやふきあへず)を産むが、綿津見の宮へと帰る。その後その養育係としておくられてきた姫神。さらに後、不合命と結ばれ四子をもうける。その末子が後の神武天皇であります。

●玉依姫の御神徳

子宝・安産・縁結び・悪病除け・災難除け・豊作・開運・方位除け・豊漁・殖産興業・商売繁昌に長けた神様です。

羽黒神社境内には愛宕神社(あたごじんじや)

本社京都愛宕山、大天狗太郎坊

伊弉冉命(いざなみのみこと)

火具土神(かぐつちのかみ)

神産みにおいてイザナギとイザナミとの間に生まれた神。火の神であったために、出産時にイザナミの陰部に火傷ができ、これがもとでイザナミは死んでしまう。その後、怒ったイザナギに十拳剣「天尾羽張(アメノオハバ)」で殺されました。

『古事記』によれば血から、以下の神々が生まれた。

石折神(いはさくのかみ)

根折神(ねさくのかみ)

石筒之男神(いはつつのをのかみ)

以上三柱の神は、十拳剣の先端からの血が岩石に落ちて生成された神々である。

甕遠目神(みかはやひのかみ)

桶速日神(ひはやひのかみ)

建御雷之男神(たけみかづちのをのかみ)

別名は、建布都神(たけふつのかみ)

別名は、豊布都神(とよふつのかみ)

以上三柱の神は、十拳剣の刀身の根本からの血が岩石に落ちて生成された神々である。

閻加美神(くらおかみのかみ)

閻御津羽神(くらみつはのかみ)

以上二柱の神は、十拳剣の柄からの血より生成された神々です。

また、カグツチの死体から、以下の神々が生まれた。

正鹿山津見神(まさかやまつみのかみ、頭から)

淤濛山津見神(おどやまつみのかみ、胸から)

奥山津見神(おくやまつみのかみ、腹から)

閻山津見神(くらやまつみのかみ、性器から)

志藝山津見神(しぎやまつみのかみ、左手から)

羽山津見神(はやまつみのかみ、右手から)

原山津見神(はらやまつみのかみ、左足から)

戸山津見神(とやまつみのかみ、右足から)

●カグツチの御神徳は

火産靈神・料理・商売繁昌・火難除け・防火防災・陶器焼き物・金属精錬。

都の鎮火防火の神として祀られたのが初め全国八百社程あります。

日限天満宮(ひきりてんまんぐう)

菅原道真公・天神さん

日本の平安時代の貴族、学者、漢詩人、政治家。

参議・菅原是善の三男。官位は従二位・右大臣。

贈正一位・太政大臣。

宇多天皇に重用され寛平の治を支えた一人であり、醍醐朝では右大臣にまで昇った。しかし、左大臣藤原時平に讒訴(ざんそ)され、太宰府へ権帥として左遷され現地で没した。死後天変地異が多発(主に落雷)したと

から、怨霊（みたま）とされ、信仰の対象となる。

現在は生前を鑑み、学問の神として親しまれる。

●御神徳

江戸時代 慈悲・正直至誠・学問・文筆の神として崇敬されました。

現在

受験合格・詩歌文筆・芸能・学問上達・農業守護・厄除け・病氣平癒・冤罪を晴らす（裁判勝利）

天神さんは全国一万四百社以上あると言われています。

大朋稲荷神社（おおともいなりじんじや）

宇迦之御魂神（うかのみたまのかみ）

『日本書紀』では本文には登場せず、神産みの第六の一書において、イザナギとイザナミが飢えて気力がないうちに産まれたとしている。名前の「ウカ」は穀物・食物の意味で、穀物の神である。

その信仰のはじまりは和銅四年（七一）伏見稲荷山三ヶ峰。伏見稲荷大社の主祭神。稲荷神（お稲荷さん）として広く信仰されている。

別名をミケツカミ（御饌津神）という。

食物を司る神。

秦氏の氏神として祀られた農耕神。氏の勢力拡大と共に信仰が拡大した。

イナリは稲生る（いねなる）

●御神徳

五穀豊穡・産業興隆・商売繁昌・家内安全・芸能上達・百貨店・たばこ火の神です。個人の家に祀られる。

全国三万二千社。小社を合わせると四万〜五万とも言わ

れています。

勅祭社（ちよくさいしや）とは、祭礼に際して天皇により勅使が遣わされる（これを勅祭という）神社のことである。

幣帛（へいはく）とは、神道の祭祀において神に奉獻するもののうち、神饌以外のものの総称である。広義には神饌をも含む。「みてぐら」「幣物（へいもつ）」とも言う。「帛」は布の意味であり、古代においては貴重であった布帛が神への捧げ物の中心となっていたことを示すものである。大抵、五色繩・錦・木綿・麻・絹等にして、これを柳筥に納めて奉奠せらる。



幣帛 (へいはく)

きよみず

おとわ

清水の音羽の滝のうせるとも

失せたる「○○○○」の出でざるはなし

(三度唱えると家の中の失物がでる)